

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 不二聖心女子学院中学校・高等学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒410-1126
静岡県裾野市桃園 198
 E-mail : fuji@fujiseishin-jh.ed.jp
 Website : http://www.fujiseishin-jh.ed.jp
 児童生徒数：男子 0 名 女子 372 名 合計 372 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- ① 環境教育（高校1年生 総合的な学習の時間 年間プログラム）
 - ・校内の自然環境を利用した、生物多様性を意識した森づくり活動
（グループ毎に生物多様性を維持することを意識した樹木の選定と植樹）
 - ・校内の森林保全活動
（矢作川水系森林ボランティア協議会の指導によるヒノキ林の健康診断と間伐体験、NPO 法人土に還る木・森づくりの会の指導による間伐材を利用したベンチ作成）
 - ・生物多様性と森林保全に関する講義・講演
（林業女子会静岡、三井物産 CSR 部によるそれぞれの活動と関係する現状についての講演、本校教員による本校の自然環境における生物多様性、および気候変動と森林の役割、森林保全に対する国連の取り組みについての講義）
 - ・「温暖化緩和策としての森林保全」を議題とした模擬国連の実施
（クラスを15カ国に分け、英文の国連資料などを利用し実施）
- ② 国際理解教育（ホームルーム活動・課外活動など）
 - ・姉妹校への留学生の派遣
 - ・昨年度スコットランドとカナダに派遣された生徒が帰国し復学
復学した生徒は体験報告会で体験を全校生徒と共有した
 - ・9月からカナダに2名、1月からニュージーランドに1名、それぞれ約1年間派遣
 - ・メキシコからの留学生の受け入れ（2014年4月～2015年2月）
 - ・高校1年生のクラスで日常生活すべてを共に過ごし、学年行事や寄宿舍での生活も体験した
 - ・台湾の姉妹校からの短期留学生の受け入れ（2015年1月末～2月半ば）
 - ・高校1年生のクラスで受け入れ、学校だけでなく寄宿舍生活とホームステイでも多くの学年の生徒と交流した
 - ・台湾の姉妹校の教員と交流(2015年2月)
 - ・日本訪問中の台湾の姉妹校教員が本校を訪問、教員だけでなく高校3年生の有志も参加し、学校紹介や日本文化の紹介（着物の着付けや遊び体験）を行った
 - ・海外体験学習の実施（高校生希望者を対象）
 - ・マルタ共和国、アメリカ合衆国での語学研修プログラム
 - ・韓国でのホームステイ・文化交流プログラムの実施
 - ・姉妹校主催のカンボジア、台湾での文化交流プログラムへの参加
参加者は事前学習を通してそれぞれの文化や歴史を学び、全校生徒への体験報告会や文化祭での展示発表を行って、体験を全校生徒と共有した
 - ・国際的なチャリティ活動へ参加・協力

- ・スーダンで起きた女子生徒集団拉致事件に対する、” Bring Back Our Girls”運動に参加
- ・国連 MDGs を呼びかける” Stand up, Take Action”運動に参加
クラス・学年毎に宣言を行って写真を撮り、公開した
- ・クリスマス行事で行われたチャリティセールで、売り上げを、学年毎に決めた NGO や国際機関に寄付した
寄付先について、担当の委員がそれぞれ関わりたい国際問題をクラス・学年毎に提示し、それらに関わる NGO や機関の活動を紹介して、学年毎に決定した。チャリティセールではクラス全員が手芸品や焼き菓子を作って売ったり、フェアトレードのコーヒーや紅茶を喫茶コーナーで提供したりした
- ・「節約弁当」の寄付金を難民・教育支援を主に活動している機関に寄付
お弁当のおかずをなくして、その分の 100 円を各自寄付する活動で、UNHCR 協会や難民を助ける会などに寄付した。寄付先の活動内容や難民の生活状況などについての新聞を発行するなど、難民問題や教育支援の必要性について自発的に調査し、知識の共有を行っていた
- ・総合的な学習の時間の活動などで海外の文化体験を実施
 - ・アイルランド文化体験（中学生、高校 1 年生対象）
総合的な学習の時間や音楽の授業を利用し、アイルランド音楽とアイリッシュダンスの講習を行った
 - ・ロシア文化体験（中学 1 年生）
中学 1 年生の保護者の協力で、イースターのグリーティングカード作りを通してロシア語やロシアの文化に触れた
 - ・中国書画体験（中学 1 年生）
中学 1 年生の保護者の協力で、春節のしきたりや書道・水墨画の体験、中国茶の試飲を通して中国の伝統文化に触れた

③ 平和・人権教育

- ・長崎への研修旅行とそれに関する準備（高校 2 年生 総合的な学習の時間）
 - ・事前学習で長崎への原子爆弾投下や被爆の状況、長崎の歴史についてグループ学習とプレゼンテーションを行い、知識を共有した
 - ・現地での研修、被爆体験者の講演、教会での祈りや礼拝を通して、戦争について理解を深め、平和を維持する大切さを学んだ
 - ・女性やマイノリティの人権や現代社会の問題などを学ぶ講演や活動
(高校 3 年生 総合的な学習の時間)
 - ・育児休暇取得や男女同姓の問題についてディベートを実施
 - ・ジェンダーやマイノリティの人権について大学の研究者の講演を聴く
- (2) 活動時間について（下記から選択して下さい。)

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（)